

自分の体に関心を持ち、健康な生活を自ら考え、実践できる児童の育成 —自分の歯と口の健康に関心をもつ実践を通して—

愛知県あま市立秋竹小学校

本校では、「歯と口の健康づくりができる子」の育成を目指して学校全体で取り組んでいます。

健口フェスティバルの開催

保護者学級において、次のねらいに迫る5つのブースを用意し、体験的に親子で歯や口の健康について学べる機会をよくなりました。

- ・歯に良いおやつについて知る。
- ・噛むことの大切さを知り、よく噛む食材について学ぶ。
- ・口腔内を酸性のままにしておかないことの大切さについて学ぶ。
- ・噛むことと唾液の関係について学び、噛む力をつける体操を覚える。
- ・より効果的で自分の口腔にあった歯磨きグッズについて考える。



学校保健委員会の開催

学校歯科医さん、歯科衛生士さんに参加していただき、本校の取り組みについてご指導・ご助言をいただきました。



健口会議の実施

健口フェスティバルで学んだことを元に、「健口会議」と題して、今後の生活に生かすために親子で歯と口の健康づくりに向けて話し合う、家族会議を設定しました。保護者の意識も高まり、いろいろな角度で歯と口の健康について振り返り、今後の生活を見直すきっかけとなりました。

歯磨きチェックの実施

昨年度から継続して実施している歯磨きチェックですが、今年度は保護者の協力を仰ぐため、保護者チェック欄を設けました。保護者の方からの温かい一言や励ましの言葉で、子どもたちの歯磨き状況は大きく改善されました。

授業実践

各学年・年間指導計画に基づき体験活動を工夫した授業実践を行っています。



健口通信の発行

2ヶ月に1回程度、歯の健康に関する啓発や情報提供のために「健口通信」を発行しています。ホームページにも掲載して、広く地域にも発信しています。